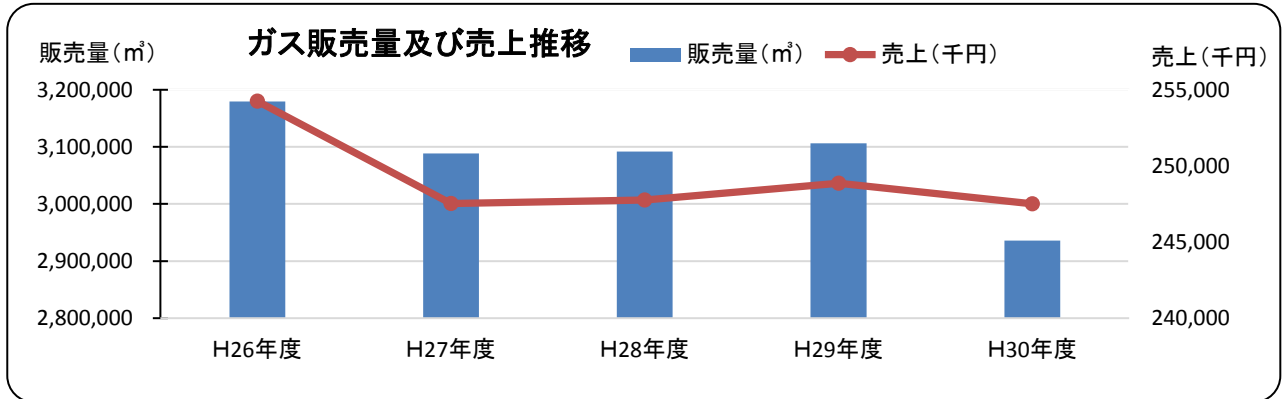
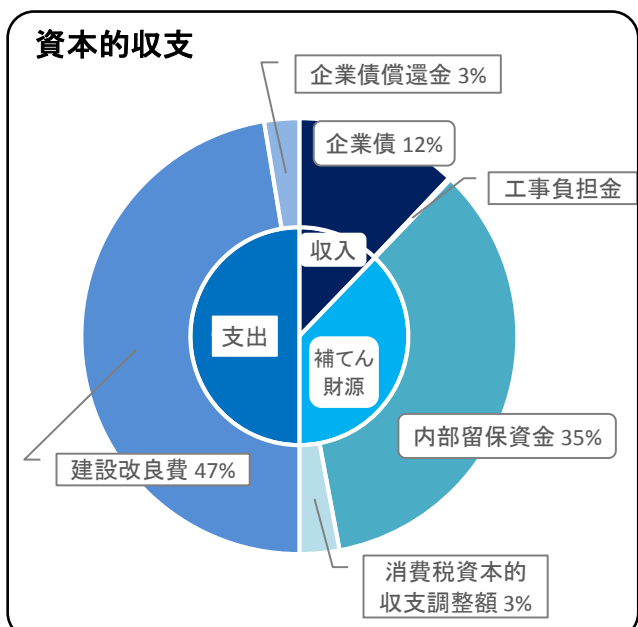
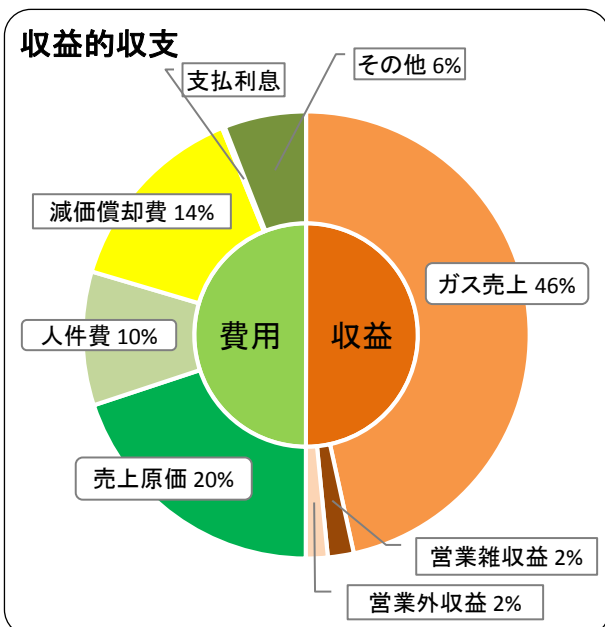


平成30年度白子町ガス事業特別会計決算概要

事業概要	
・ 年度末需要件数 2,916件	(年間累計 35,057件、対前年度 36件減少)
・ ガス販売量(9,200kcal) 2,935,913m ³	(対前年度 170,559m ³ 減少)
・ ガス導管延長 120,466.7m	(対前年度 148.5m増加)
・ 供給管本数 3,261本	(対前年度 12本増加)



収 支	予算額 (A) 千円	決算額 (B) 千円	増減額 (B)-(A)	対前年度比 (%)
収益的収支(税抜)				
ガス事業収益	304,045	265,848	▲ 38,197	▲ 0.1%
ガス事業費用	300,513	265,615	▲ 34,898	▲ 2.7%
当年度純利益	—	233	—	2,932.5%
資本的収支(税込)				
資本的收入	30,001	30,346	345	▲ 1.5%
資本的支出	138,723	124,334	▲ 14,389	▲ 2.0%
差引不足額	—	▲ 93,988	—	▲ 2.1%



収 支 概 要

平成30年度のガス販売量は、全国的規模で発生した暖冬の影響が大きく、前年度比170,559m³減少し2,935,913m³でありました。

また近年の経営環境の変化に伴い、これまでの料金体系による事業維持が困難であったことから、平成8年度以来となる料金改定を平成30年4月より実施しました。

この結果、販売量は落ち込みましたが料金改定効果によって、経営成績は2カ年度続いた純損失から脱却し、純利益を計上しました。

収益的収支では、ガス事業収益 265,848,435円（前年度比 0.1%減）、ガス事業費用 265,615,198円（前年度比 2.7%減）となり、当年度純利益は 233,237円（前年度増減額:6,839,578円の利益増）となりました。

資本的収支では、支出額 124,334,496円の財源を企業債等の外部資金より 30,346,500円、内部留保資金等の財源より 93,987,996円にて補てんしました。

剰余金処分	減債積立金	利益積立金	建設改良積立金	繰越利益剰余金
H30期首残高	13,250千円	75,000千円	107,841千円	776千円
当年度変動額	0千円	0千円	0千円	233千円
H30期末残高	13,250千円	75,000千円	107,841千円	1,009千円

財務分析指標

